

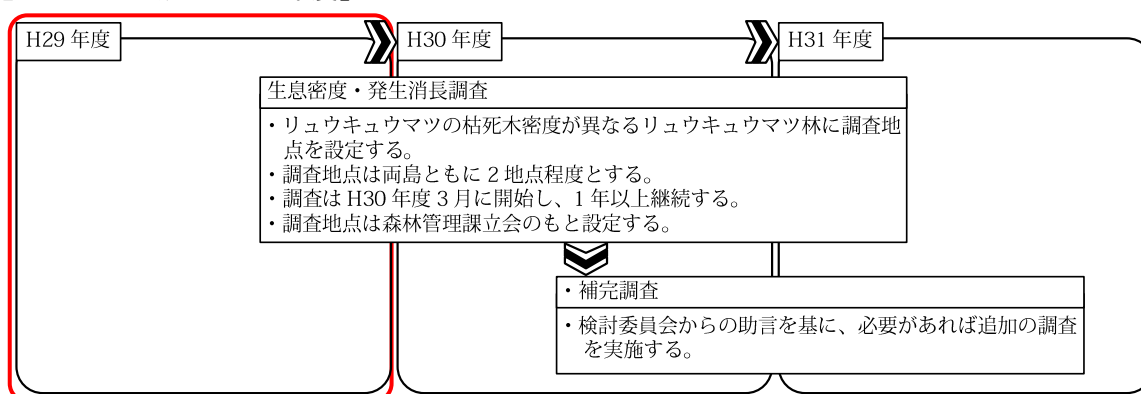
2.5. 石垣島、宮古島におけるマツノマダラカミキリの生息密度や発生消長の把握

現在、石垣島、宮古島において松くい虫被害の発生は確認されていない。しかし、マツノマダラカミキリの生息は確認されており、非線虫性のマツ枯損を確認していることから、産卵可能木増加に伴うマツノマダラカミキリの密度増加が懸念されている。

マツノマダラカミキリの密度増加は、マツノザイセンチュウが侵入した場合に激甚な被害へ繋がることから、本事業ではマツノマダラカミキリの生息密度を把握し、必要に応じて戦略的防除方針の策定に資することを目的とする。

今年度は調査地の選定を行い、2月末にマツノマダラカミキリ専用のトラップを設置した。調査は次年度以降も継続して行う。

【実施フロー 平成 29～31 年度】



(1) 方法

調査地点は両島ともに2地点とし、リュウキュウマツの枯死木が存在するリュウキュウマツ林とした。各調査地点に2基、マツノマダラカミキリ専用の誘引剤を用いたトラップを林内の高所（8m程度が理想）に設置、マツノマダラカミキリの捕獲に努めた。

なお、効率的な調査が行えるよう、調査は宮古森林組合、八重山森林組合と連携して行った。

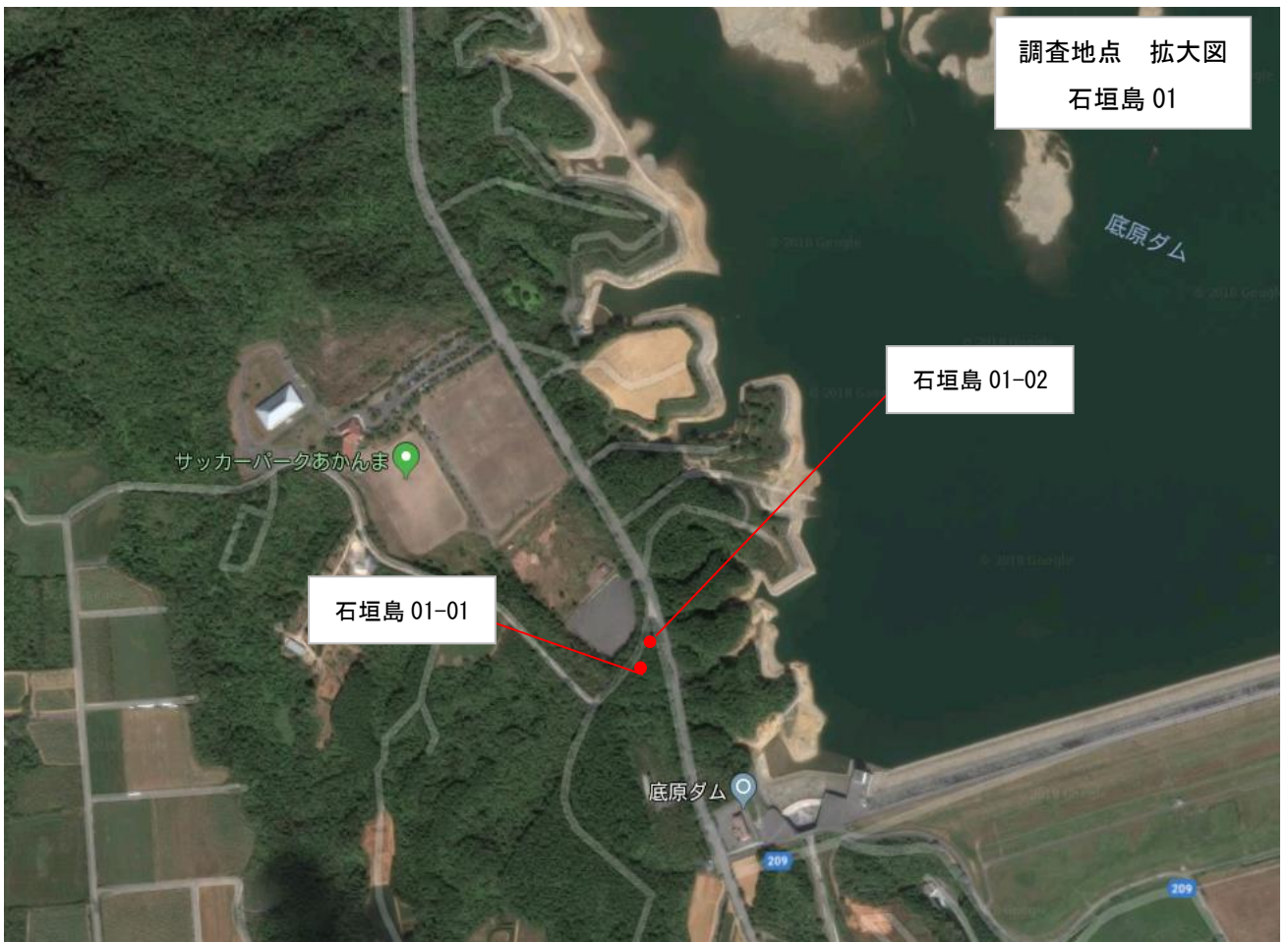
【使用した誘引剤とトラップ】

- ・誘引剤（マダラコール、エチルアルコール）
農林水産省登録 登録番号：第 15891 号
有効成分：2-ピネン 95.0%（マダラコール）
取扱会社名：サンケイ化学株式会社
- ・トラップ（右写真）
器材名：マダラコール用誘引器
取扱会社名：サンケイ化学株式会社



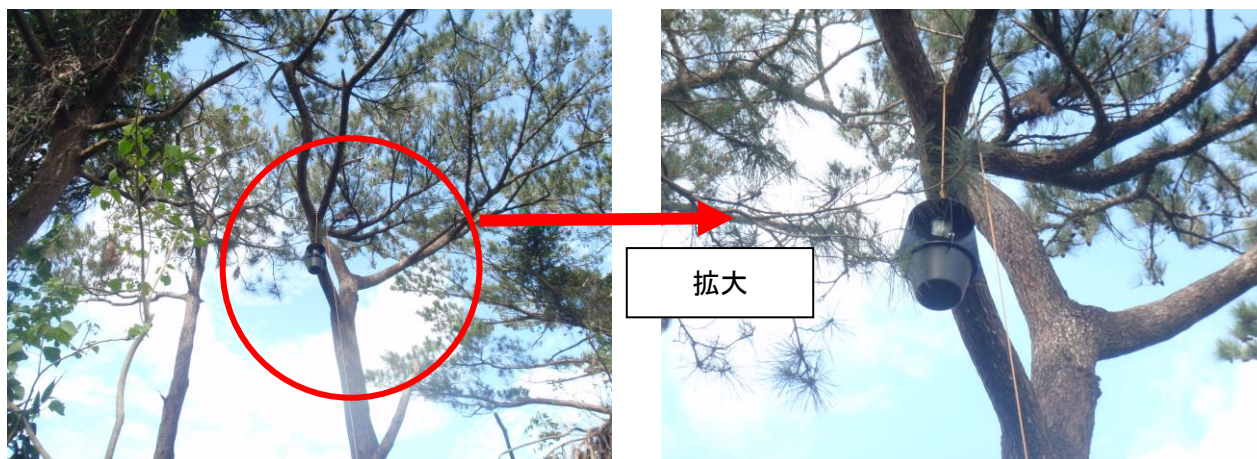
【調査地点】

- ・石垣島 01 底原ダム、サッカーパークあかんま周辺
- ・石垣島 02 宮良地内
- ・宮古島 01 市立東小学校東側の学びの森
- ・宮古島 02 大野山林の南側









トラップ設置状況

(2) 結果

調査は、以下の日程で行った。

第1回目：平成30年2月27日28日（設置）

第2回目：平成30年3月7日（回収1回目）

第3回目：平成30年3月14日（回収2回目）

第4回目：平成30年3月22日（回収3回目）

平成30年3月23日時点でマツノマダラカミキリの捕獲は確認されなかった。